

## 令和5年度 事業計画

社会福祉法人四天王寺福祉事業団

令和5年度の事業方針を承けて、当該事業計画では、開祖聖徳太子の御聖旨に則る『理念』を礎に、「宣言」「職員心得」について、法人全体でさらなる浸透・徹底を強く求める。今般、われわれが直面する課題は、感染症の予防・抑制対策が、最重点項目となる中で、オンラインやオンデマンドを駆使した会議・研修や職員採用活動の導入・定着とともに、従前からの課題でもあった職員の「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」への取り組みを定着させ、時間外勤務削減や勤務間インターバルの確保、有給休暇取得率向上などの徹底を図る。

また、ますます混迷・混沌を深める不確実性の時代にあって、われわれが福祉・医療の未来図を描き、「地域共生社会」実現のためのイノベーターとしての役割を果たすべく、中長期計画を策定する。令和13年の創立100周年へ向けて、われわれ法人が目指すべきは、人の幸せをよここび合える地域（まち）が福祉社会とする法人の「宣言」のさらなる具現化である。

今年度事業方針に基づき下記事項に取り組む。

### 1 「宣言」の具現化に向けて

- (1) 職員は、各施設の経営計画に基づき、自己の任務や目標の管理・評価を設定し、Do-CAPシートを活用して「宣言」の具現化に取り組む。
- (2) 各事業部及び各施設での協議・協働の場、法人内の様々な研修会や面談など、対人コミュニケーションの機会においても、「人財・サービス・財務」の観点に留意しながら、「宣言」のより一層の具現化に取り組む。

### 2 人財

- (1) 働き方改革に対応し、労働条件の改善や採用希望者の雇用条件を考慮した就労環境整備を進める。
- (2) 法人全体の研修体系の充実に創意工夫を凝らしながら、各施設の研修成果についてもフィードバックの実効性を高める。
- (3) 優秀な人財の確保・育成を図り、かけがえのない人財の定着を目指し、諸制度の導入検討や、海外人財の受入・定着を目指す。

### 3 サービス

- (1) 良質なサービス提供の向上のため、引き続きキャリア形成研修等に取り組む。
- (2) ご利用者本位の付加価値の高いサービス提供のため、PDCAサイクルを励行して取り組む。
- (3) ご利用者の安心・安全に資するため、心肺蘇生講習会をはじめ救急対応の充実に取り組む。

- (4) 個人の尊厳と主体的な生活の実現に資するサービスの向上・開発に取り組む。

#### 4 財務

- (1) 制度改正などの外的要因に対応しながらも、事業継続を行えるように、収入増と経費節減を重点課題として、各施設では中長期の視点で、財務体質の改善に取り組む。
- (2) 会計監査人の制度を適用し、さらなる運営の透明性確保、財務規律の強化を目指す。
- (3) 大規模修繕や基幹設備の更新、建て替えや新規事業への準備資金、職員福利厚生の実等、将来的に必要な資金確保を具体化しつつ、法人全体の中長期計画の立案に着手する。

#### 5 リスク

- (1) CS（顧客満足）の目指すべき目標である“ご利用者の事故ゼロ”、ES（従業員満足）の目指すべき目標である“離職・労災ゼロ”に向けて取り組む。
- (2) 多発・巨大化している大規模自然災害、新たな感染症の蔓延など、緊急事態に遭遇した場合を想定した、「事業継続計画/BCP[Business Continuity Plan]」を策定し、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための組織体制、設備備品の整備を行う。加えて、事業休止リスクへの対応のため、休業補償保険などへの加入を検討する。

#### 6 地域

- (1) 今後も継続して、地元のみならず、広域や異業種との連携・協同を通じた公益的な活動の充実に取り組む。
- (2) 中間的就労や障害者雇用について、今後も注力して取り組む。

#### 7 福利厚生

- (1) 職員満足度を高めるべく、働きやすい環境づくりを目指して取り組む。
- (2) メンタルヘルス研修、ストレスチェック、及び「こころの健康相談窓口」の啓発活動を通じて、職員の心身の健康管理に努める。
- (3) 年間休日固定化の効果を検証し、職員の心身の健康管理にも一層努める。

#### 8 法人機能

- (1) 法人や各施設を取り巻く環境変化に対して、迅速な情報の収集・分析に努め、各施設との連携・協働によって持続可能な発展を目指す法人経営に取り組む。
- (2) 新たに経営戦略会議を通じて、事業方針で挙げた重点課題に対してプロジェクトチームを立ち上げ、改善活動に取り組む。

9 研修体系

